



■AAV7の見学

■F-2の見学

■護衛艦すずつきの見学

自衛隊統一募集広報 POWER ADVENTURE

自衛隊長崎地方協力本部は、長崎県内の多くの若者に自衛隊に対する理解を深め、自衛官志願の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めていきます。

(募集課企画室)

佐)と第2潜水隊群の潜水艦の見学を実施した。陸海空自衛隊の代表的な装備品を見学した高校生からは「色々な職域があり興味を湧いた。」「一般曹候補生を受験します。」などの高い入隊意欲のある感想が聞かれた。

7月24日、25日は航空自衛隊築城基地において、第8航空団(団司令 北川英二空将補)を見学し、7月26日、27日は陸上自衛隊相浦駐屯地において、水陸機動団(団長 梨木信吾陸将補)を見学したのち、海上自衛隊佐世保基地において護衛艦等を見学した。築城基地では、F-2戦闘機などの航空機等装備品の見学、相浦駐屯地では、AAV7水陸両用車等の見学、佐世保基地では、護衛艦「すずつき」(艦長 岩森雄飛2等海佐)と第2潜水隊群の潜水艦の見学を実施した。陸海空自衛隊の代表的な装備品を見学した高校生からは「色々な職域があり興味を湧いた。」「一般曹候補生を受験します。」などの高い入隊意欲のある感想が聞かれた。

それぞれの自衛隊への理解を深めていただくとともに、自衛隊への入隊意欲を高めてもらうことを目的として毎年実施されている。



■築城基地で説明を受ける学生達



■護衛艦すずつきの艦内見学

長崎地本だより

発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
TEL.095-826-8844



長崎地本公式HP



長崎地本公式 Twitter



長崎地本公式 Instagram

職業講話(南極と砕氷艦「しらせ」)



■南極の水展示

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 伊東圭市1等海佐)は、6月14日(水)長崎県立大村工業高校において、砕氷艦「しらせ」(艦長 波江野裕一1等海佐(当時))機関長 山内正己2等海佐(当時)を招へいし、南極観測に関する講話を実施した。

山内2等海佐は、母校の大村工業高校の全校生徒888名、教員51名を前に、しらせの隊員の生活や仕事、南極の環境、自身の海上自衛官としての半生について語った。生徒からの反応は非常に良好であり、特に南極の話、しらせ隊員の生活の話及び同校先輩としての人生のアドバイスへの関心は高かった。

講話中には山内2等海佐が持ち帰った南極の氷が展示された。生徒は本物の南極の氷に興味津々となり、氷に触れて冷たさや感触を味わい貴重な経験をされた。



■講話の様子

また、近郊の高校・中学校4校に対しても同様の講話を追加で実施し、上記の他、約250名に対して南極活動に関する理解促進の機会を得た。中には「地球環境問題」の授業の一環として、当該講話を活用した学校もあり、時宜を得た内容として高評価を得た。

自衛隊長崎地方協力本部では、この種のような話題性に着目した講話を通じて自衛隊に関心を持つ若者が増えることを大いに期待し、引き続き積極的な募集広報活動に努める所存です。(募集課企画室)

国家を守る、
公務員。
自衛官募集



本部長学校訪問 (長崎大学)



■4月25日(火)学長へ訪問



■6月2日(金)副理事長へ訪問

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 伊東圭市1等海佐)は、4月25日(火)長崎大学学長及び6月2日(金)同校副理事長(キャリアセンター)長への学校訪問を実施した。

この際、自衛隊の活動の説明、大学における職業紹介等講話機会の設置等、具体的に踏み込んだ内容にいたるまで話が弾み、長崎大学構内における職業紹介ブースの設置について可能である旨を確認するとともに、今後の広報活動へのご理解及びご協力をいただくことを確認した。

自衛隊長崎地方協力本部、公安合同(警察、消防、海保等)での募集ブース開設を予定しており、事後、OB・OG(学校卒)を活用した学校での講義、防衛講話、職業説明へと段階的に発展させて、引き続き積極的な募集広報活動に努める所存です。(募集課企画室)

西部方面音楽隊巡回演奏会 in 長崎



海上自衛隊佐世保音楽隊の演奏

陸上自衛隊西部方面音楽隊の演奏

自衛隊長崎地方協力本部（本部長 伊東圭市1等海佐）は、7月22日（土）長崎ブリックホールにおいて西部方面隊（総監 山根寿一陸将）が主催する「西部方面音楽隊巡回演奏会 in 長崎」を支援した。

西部方面音楽隊（隊長 稲積英典3等陸佐）40名による巡回演奏は令和3年7月17日以来約2年ぶりの開催であり、海上自衛隊佐世保音楽隊（隊長 高野賢一1等海尉）30名とのコラボレーション演奏の運びとなった。1123名もの来場者があり大盛況であった。

第一部では西部方面音楽隊が「セドナ」や「歌劇「蝶々夫人」より ある晴れた日に」などを演奏し、第二部では佐世保音楽隊が吹奏楽のための交響詩「くるりよさ」が披露され、最後に両音楽隊による合同演奏で締めくくった。来場者からは「とてもよかった。」「来年も来てほしい。」等の激励を頂いた。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も地域イベント等へ積極的に参加して募集広報活動を行い、県民とのかけはしとなつて引き続き尽力していく所存です。

（募集課広報室）



海上自衛隊佐世保音楽隊と陸上自衛隊西部方面音楽隊とのコラボ演奏



1,123名の来場者で賑わう会場



自衛官募集ブースに学生達は興味津々



JMSDF 諫早防衛協会海自研修支援



航空機見学



航空機整備見学



概要説明



体験喫食

自衛隊長崎地方協力本部諫早地域事務所（所長 我謝良彦2等陸尉（当時）は6月13日（火）、諫早防衛協会（会長 敷島知章氏）の海上自衛隊大村航空基地研修を支援した。本研修は諫早防衛協会会員の方々に自衛隊の現状を知っていただくために実施され、海上自衛隊の概況及び第22航空群（群司令 鈴木克哉海将補）の任務、部隊の歴史等の説明を受けたほか、体験喫食、航空機及び航空機整備の様子を見学した。

研修参加者からは、「海上自衛隊の概況や部隊の任務を理解することができた。航空機見学では貴重な体験ができた。」など喜びの声があり、有意義な研修となった。



（諫早地域事務所）

ソニーセミコンダクタ
マニユファクチャリング株式会社様

新入社員
82名

自衛隊隊内生活を体験!!



■基本教練の様子



■消防法の様子



■ベッドメイキングの様子



■救急法の様子

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 伊東圭市1等海佐)は、5月9日(火)から10日(水)までの間、第22航空群司令(司令 鈴木克哉海将補)の支援を受け、海上自衛隊大村航空基地において、ソニーセミコンダクタマニユファクチャリング株式会社の新入社員82名に対する自衛隊隊内生活体験を実施した。

自衛隊隊内生活体験を通じ新入社員に組織における規律心、団結心、協力心を涵養してもらおうとともに、併せて「国民のために、国民とともにある自衛隊」の実際の姿を広く知ってもらうことを目的意義として実施しており、基地内に宿泊し、隊員と同じような日課で団体生活を体験してもらった。

参加者は、日常生活、基本教練、ベッドメイキング、消火法、救急法等を通じ相互に協力し合い団結する重要性を体感した。

自衛隊隊内生活体験終了後の参加者による所感発表では、「協力する事の必要性を感じた」「助け合う事の重要性を学んだ」「大変貴重な体験ができた。最初は怖い印象があった自衛官も実際はとても優しく、自衛隊に対するイメージが変わった。」等の感想が述べられ、本事業の目的を十分達成することができた様であった。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も県民とのかけはしとなるべく、日々の業務に邁進する所存です。(募集課広報室)



海上自衛隊佐世保地方隊設立70周年記念 サマーフェスティバル援護広報



■説明を熱心に聞く企業様

長崎地方協力本部(本部長 伊東圭市1等海佐)は7月8日(土)に、海上自衛隊佐世保地方隊設立70周年記念サマーフェスティバルに、3社の企業主等を招へいし援護広報を実施した。護衛艦「きりさめ」の体験航海が予定されていたものの、あいにくの天候不良により、一般公開に変更された。日頃、護衛艦を外側から見る機会はあるものの、内部の状況は見る機会がないため、各企業の方々は、隊員から艦内での海上自衛官が実施する任務の説明及び艦内生活を見聞する中で、その崇高な使命感に感銘を持たれたようであった。

また、隊員の癒しでもある「お風呂(湯舟)」の存在にも興味を示され、艦内は水が大変貴重になるもの、任務の疲れを癒すためにも必要な施設であると理解され大変満足そうであった。

自衛隊長崎地方協力本部は、県内の多くの企業に自衛隊を理解して頂くとともに、就職援護の相互理解を深めるために引き続き援護広報を実施していきます。

(援護課
航空連絡幹部)



■「きりさめ」の前での一枚



■食堂で説明を受ける企業様

令和5年度予備自衛官補辞令書(採用)交付式



■本部長より予備自衛官補へ辞令書の交付



■予備自衛官補との記念撮影

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 伊東圭市1等海佐)は、7月9日、自衛隊長崎地方協力本部において、7月1日付採用予備自衛官補に対し「令和5年度予備自衛官補辞令書(採用)交付式」を実施した。

自衛官未経験者を予備自衛官補として採用し、それぞれ所定の教育訓練招集に参加し、必要な知識・技能を修得した後、予備自衛官へ任用される制度である。

予備自衛官補は一般と技能※があり、今回、一般3名、技能(語学・英語)1名の採用者に対し、制度訓練説明、辞令書交付、部長の激励等を実施し、今後、常備自衛官及び即応予備自衛官とともに我が国の防衛に貢献することへの意識付けを図った。

採用された予備自衛官補は、辞令書交付を結節として、高い志と将来への強い意欲を滲ませたようであった。

自衛隊長崎地方協力本部は、これからも予備自衛官補が教育訓練招集を無事に終え、予備自衛官へスムーズに任用できますよう、親身になって支援を実施して行きます。また、引き続き予備自衛官等の勢力確保に努めていく所存です。

(援護課予備自班)

※一般：駐屯地警備、後方支援等の任務を実施する予備自衛官になるコース
技能：医療従事者、語学要員等の予備自衛官になるコース



防災 長崎県総合防災訓練

自衛官募集活動へのご協力感谢您!



大石県知事が募集ブースにて訪問

広報ブースに来訪したみなさん

装備品展示

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 伊東圭市1等海佐)は、5月28日(日)対馬市で行われた令和5年度長崎県総合防災訓練に参加した。本訓練は各種災害から県民の生命・身体・財産を守るため、自衛隊、警察、消防等、防災関係機関の連携の強化と有事即応態勢の確立、防災意識の高揚、普及を目的として、毎年、梅雨に入る前の5月に実施されており、今年も63団体約700名が参加した。(自衛隊からは、陸自対馬警備隊、海自佐世保地方総監部、同第22航空群、同対馬防備隊、空自西部航空方面隊、同航空救難団が参加)

各機関は、土砂災害警戒情報及び顕著な大雨に関する長崎県気象情報の発令中に震度6強の地震災害が発生し、住宅火災、河川の氾濫等被害の想定下、機能別に救助活動の展示を実施した。

自衛隊長崎地方協力本部は、広報ブースにおいて災害派遣活動の写真及びDVDを上映し、防災意識の高揚を図った。また、対馬警備隊の協力により偵察用オートバイ、軽装甲機動車を展示し、見学に訪れた地域住民へ自衛隊グッズを配布する等、地域住民の自衛隊活動に対する理解及び良好な関係を醸成した。また、ブースには長崎県知事も訪れ、展示された災害派遣の写真を見学された。

自衛隊長崎地方協力本部は、災害発生時に備え、各地方公共団体が実施する防災訓練へ積極的に参加し、関係機関との連携をより一層深めていく所存です。

(総務課総務班)



消防団員による追悼の様子



災害活動した当時の展示ヘリコプターを見学

「いのりの日」追悼行事へ参加



自衛隊長崎地方協力本部 島原地域事務所(所長 野口秀貴1等陸尉)は、6月3日(土)島原市復興アリーナ敷地内にある消防団殉職者慰霊碑前において、「いのりの日」追悼行事へ参加した。

この行事は、平成3年6月3日の雲仙普賢岳大火砕流が発生し犠牲となられた方々を追悼する行事で、島原市が主催となり毎年この日に合わせて開催されており、今回で32回目となった。また、この時期には、各近隣自治体などで追悼行事や小中学校では災害学習が行われるなど、この災害の記憶を風化させない取り組みが実施されている。

当日は、天候も良く、慰霊碑の前では朝から関係者参列のもと献花がおこなわれ、多くの参列者が現地を訪れた。また、大火砕流が発生した午後4時8分には、島原市全域でサイレンがなり、多くの市民が黙とうをおこない犠牲になられた方々の追悼が行われた。

島原地域事務所は、当時災害派遣活動に携わった隊員の所感文などの雲仙普賢岳噴火災害資料の展示や当時使用されたヘリコプター及び装甲車について、参列した方々に説明をおこなった。今でも災害派遣期間最長の1658日となるこの雲仙普賢岳噴火災害や、この災害派遣での自衛隊の活動と、この災害で犠牲となられた方々の追悼や当時の状況・教訓などを後世に伝える取り組みを島原市と連携し実施して参ります。

(島原地域事務所)

自衛官募集

インターネットからも応募できます

自衛官募集 検索

募集フリーダイヤル コールセンター

0120-063792

年中無休 受付時間 12:00~20:00

- 昇任** 令和5年7月1日付
- 【1等陸曹(昇任)】 本部長 酒井 順一
 - 【1等空曹(昇任)】 佐世保出張所 川上 和孝
- 表彰**
- ◆令和4年度 優秀所 本土の部
 - 【最優秀事務所】 琴海地域事務所
 - 【優秀事務所】 長崎募集案内所
 - 離島の部
 - 【最優秀事務所】 五島駐在員事務所
 - ◆令和4年度 優秀広報官
 - 【最優秀事務所】 大村地域事務所
 - 1等陸曹 中野 貴昭
 - 【優秀広報官】 長崎募集案内所 非常勤隊員 満居 浩
 - 【敢闘広報官】 佐世保出張所 2等陸曹 神部 寿文
 - 【敢闘広報官】 琴海地域事務所 1等空曹 船越 早人
 - 【敢闘広報官】 大村地域事務所 陸曹長 山口 隆博
 - 【敢闘広報官】 佐世保出張所 1等陸曹 納所 彰

人事異動

- ◎ 転入 令和5年8月1日付
 - ◎ 第22航空隊より 本部募集課広報室長へ 1等海尉 上山 直人
- ◎ 転入 令和5年8月1日付
 - ◎ 幹部候補生学校より 本部募集課長補佐へ 3等陸佐 池田 秀樹
 - ◎ 大村地域事務所長へ 2等陸尉 上古 閑 誠
 - ◎ 第366会計隊より 本部総務課へ 陸曹長 江籠 智美
 - ◎ 第102高射特科隊より 長崎募集案内所へ 陸曹長 峰松 克也
 - ◎ 第16普通科連隊より 本部総務課へ 1等陸曹 松本 聡子
 - ◎ 高等工科学校より 本部総務課へ 2等陸曹 久松 裕希
 - ◎ 水陸機動団本部付隊より 諫早地域事務所へ 2等陸曹 吉元 勇人
- ◎ 転出 令和5年8月1日付
 - ◎ 諫早地域事務所長より 長崎募集案内所へ 2等陸尉 我謝 良彦
 - ◎ 長崎募集案内所長より 本部募集課へ 准陸尉 坂井 粘
 - ◎ 本部募集課より 諫早地域事務所長へ 陸曹長 佐藤 一郎
 - ◎ 諫早地域事務所より 島原地域事務所へ 1等陸曹 松本 かつお
 - ◎ 大村地域事務所長より 大村駐屯地業務隊(大村)へ 1等陸尉 浦田 秀明
 - ◎ 長崎募集案内所より 自衛隊福岡地方協力本部北九州へ 陸曹長 七種 修
 - ◎ 本部総務課より 第102高射特科隊(竹松)へ 1等陸曹 井手 進
 - ◎ 本部総務課より 西部方面会計隊(宮古島)へ 1等陸曹 酒井 順一
 - ◎ 本部総務課より 西部方面システム通信群(相浦)へ 2等陸曹 米倉 勢八
 - ◎ 島原地域事務所より 高等工科学校(武山)へ 3等陸曹 伊藤 悠樹
- ◎ 転出 令和5年8月21日付
 - ◎ 本部募集課広報室長より 対潜資料隊総務科長へ 3等海佐 吉田 佳寿史
- ◎ 転出 令和5年6月24日付
 - ◎ 自衛隊長崎地方協力本部付 1等陸尉 大宅 哲則
- ◎ 定年退職 令和5年8月9日付
 - ◎ 自衛隊長崎地方協力本部付 准陸尉 新甫 豊